

# あいち農産物生産流通レポート

平成27年6月号

情報サロン		
・「新しい食品表示制度」について	(食育推進課)	1
地域トピックス		
・知多南部総合卸売市場の一般開放について	(知多農林水産事務所)	2
・愛知てん茶組合、自らのてん茶の製造・販売を開始	(西三河農林水産事務所)	4
東日本情報		
・「第17回国際バラとガーデニングショウ」でバラの魅力を紹介	(東京事務所)	5
フラワーページ		
・あいちの花で県庁舎や名古屋駅前を装飾します!	(園芸農産課)	7
青果		
・愛知産青果物の動向(名古屋・東京市場)		8
・名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し		9
花き		
・切花・鉢花の6月の見通し(県内市場)		21
輸出入		
・主要農林水産物の輸出入実績(2015年3月)		25
関連指数		26

今月、西日本情報はありません。

内容についての問い合わせ先

愛知県東京事務所行政課農産物流通対策グループ

(03)-5492-5400

愛知県農林水産部食育推進課

(052)-954-6421

## 「新しい食品表示制度」について

平成 27 年 4 月 1 日、新しい食品表示の制度として、「食品表示法」が施行されました。

これは、従来の食品表示制度が、食品衛生法・JAS 法・健康増進法と、3つの法律に分かれてルールが定められていたために、複雑で分かりにくいものとなっていたことから、食品表示の一元的な制度として定められたものです。

具体的なルールは、「食品表示基準」に定められました。

これは、食品衛生法・JAS 法・健康増進法の下に定められていた 58 本の表示基準を統合しています。

新しい食品表示の制度が定められたことで、アレルギー表示のような安全性に係るルールがより分かりやすく見直されるとともに、栄養成分表示が義務化され、また機能性表示制度が創設されました。



愛知県では、食品表示法については、食品衛生法を担当していた健康福祉部保健医療局生活衛生課、JAS 法を担当していた農林水産部食育推進課、健康増進法を担当していた健康福祉部保健医療局健康対策課、以上 3 課で協力して対応しております。

食品表示に関する疑問点、御相談のほか、食品表示の違反が疑われる情報をお持ちでしたら、以下のホームページアドレスを御参考に、関係機関まで御連絡ください。

また関係法令や、食品表示に関する Q&A を御覧になりたい方は、以下の消費者庁のホームページを御覧ください。

### 【問合せ先ホームページ】

<http://www.pref.aichi.jp/0000080900.html>

### 【消費者庁ホームページ】

<http://www.caa.go.jp/foods/index18.html>

## 知多南部総合卸売市場の一般開放について

知多農林水産事務所

知多南部総合卸売市場一般開放実行委員会（以下、「実行委員会」という。）は、日頃は業者しか利用することができない市場について、一般の皆さんに開放して、安心・安全な食品を届ける流通基地としての役割を知ってもらうために、今回で2回目となる一般開放「わくわく新鮮 市場の朝市」を5月17日（日）に実施しました。

### 1 事前PRについて

実行委員会は、一般開放の実施を一般の皆さんに周知するために、次のとおり事前PRを実施しました。

- (1) 5月15日発行の地元新聞半田市内版にチラシ29,600部を折り込むとともに、知多版紙面に一般開放を告知
- (2) 半田市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町の各市町広報誌への掲載
- (3) 地元タウン誌への広告掲載

### 2 5月17日（日）の概要について

当日は、天候に恵まれたこともあり、開始時間の午前8時前から来場者があり、終了時間である午前11時までに、前回の4,000人を上回る約5,000人（概算）の来場者で賑わい、大変盛況でした。

出展者数は30業者あり、青果、精肉、水産、菓子、飲食販売など多岐にわたる物販が行われました。現在、野菜が高いこともあり、青果物の販売コーナーには行列ができ、また、前回人気の高かった水産物や精肉も好調に売れていました。

なお、来場者に、「市場の朝市」を何で知ったのかを聞き取りを行ったところ、半田市内の方はチラシ、半田市外の方は市町広報という回答が多く、中には、中日新聞の知多版に掲載された告知を見て、大府市から来たというご夫婦もお見えでした。

また、マスコミ取材も地元ケーブルテレビ等が来ており、今回の「市場の朝市」実施を知った一般の皆さんに、次回、足を運んでもらえたらと期待しています。



### 3 今後の課題について

駐車場については、来場と退場のバランスが良かったため、場内で車が滞留することはほとんどありませんでしたが、今後、来場者が増えると問題が起こる可能性があります。

また、来場者の顔ぶれを見ていると、前回の来場者アンケートと同じく60代、70代の方が多い傾向でしたが、小学生以下の子どもを連れた親子連れなども多く見受けられました。このため物販だけでなく、子ども向けのイベントや体験コーナーを開催することにより、幅広い年代に来場してもらえるような取組を実行委員会に期待したいと思います。

## 愛知てん茶組合、自らのてん茶の製造・販売を開始

全国有数のてん茶産地である西尾市に本拠地を置く「農事組合法人愛知てん茶組合（稲垣富宏代表）」が、平成 27 年度から自らてん茶の製造・販売を開始しました。

当組合は、愛知県のとん茶と抹茶の更なるブランド力向上のため、県下のとん茶栽培農家が共同して平成 24 年 12 月に設立したもので、組合員同士で栽培技術やノウハウを共有し、一層高品質なてん茶の生産を目指しています。

また、平成 25 年 2 月には総合化事業計画の六次産業化・地産地消法に基づく認定を取得し、平成 26 年度 6 次産業支援事業費を活用し、てん茶加工機械を整備し、平成 27 年 5 月から機械を本格稼働しました。

整備した茶加工機械は組合員が搬入する原料荒茶を切断、回し篩、風力選別、遠赤外線回転火入れ、電気選別、合組みの過程を経て製品てん茶（石臼で挽いて抹茶にする前の段階）まで加工する機械で、1 日約 700kg を生産できます。

特に優れた点として、全国でも珍しい「ステンレス管空気輸送方式」を採用しており、加工過程でほこりの侵入を防ぐ最新鋭の衛生設備を備えています。



原料荒茶の投入



加工工程（電気選別）



完成した製品てん茶



製品を確認する組合員

完成したてん茶は、抹茶製造会社（主にマルハラ水沢製茶、香岳園製茶、あいや、吉田園）へ出荷され、その後、大手製菓会社（明治、雪印、森永、ポッカサッポロ等）、有名洋菓子店（シェシバタ等）や海外大手のメーカーにも販売され、クッキーやケーキ、抹茶飲料やアイスクリーム等に利用されます。

さらに輸出を含めた販路拡大、売上高向上を目指し、欧米諸国への輸出基準を満たすため HACCP と JGAP 取得に努めており、農業経営の改善・安定化と愛知の茶産業の活性化を目指して日々努力を続けています。

東京事務所行政課農産物流通対策グループ

「第17回国際バラとガーデニングショウ」でバラの魅力を紹介

平成27年5月12日（火）～17日（日）までの6日間、「第17回国際バラとガーデニングショウ」が西武プリンスドーム（埼玉県所沢市）で開催されましたのでその概要を紹介します。

開催概要

このショウは、バラとガーデニングが持つさまざま

な魅力を紹介する（新しいライフスタイルを多くの人々に提案し、自然と共生しながら、新しい文化の魅力を再発見していただく）国内最大規模の祭典で、会場構成としては新たな庭造りの提案やコンテスト（バラ切り花、バラ鉢植え、ハンギングバスケット、ガーデン）の展示、トークショー、花とガーデニングに関連した商品の販売などがありました。最終日には約4万人が来場するなど大盛況で、会期中は約100万輪のバラの花と芳しい香りに包まれて、のべ19万人超が来場されました。

第17回国際バラとガーデニングショウ

主催 国際バラとガーデニングショウ組織委員会  
（毎日新聞社 / NHK / スポーツニッポン新聞社）  
後援 外務省、農林水産省、国土交通省、埼玉県、所沢市ほか  
協力 （一財）日本花普及センター、  
（公社）日本家庭園芸普及協会ほか  
企画運営 NHKエデュケーショナル、NHKアート、西武鉄道



ローズアベニューの様子

バラの魅力紹介

最終日（17日）のローズステージでは、「NHK趣味の園芸」に出演している俳優の三上真史氏<sup>みかみまさし</sup>を進行役にバラ男子2015の3名<sup>かわいたかし</sup>（河合伸志氏<sup>むらかみさとし</sup>（バラ育種家）、村上敏氏<sup>きむらたくのり</sup>（園芸研究家）、木村卓功氏（ローズクリエイター））が番組の裏話を交えながらバラの魅力を紹介するなど、庭に植えたりベランダなどで育てたりするバラのPRに一役かっ



バラトークする4名

（左から進行役の三上氏、河合氏、村上氏、木村氏）

した。

三上氏にバラを贈るコーナーではバラ男子3名が選んだ「真夜(まよ)」や「シェアリング・ア・ハピネス」など6種類のバラのなかから、三上氏は香りが印象的で草姿がコンパクトな「シェエラザード」を選んでいました。

ローズアベニュー

ローズスタイリストの<sup>おおの こうしょう</sup>大野 耕生 氏が手がけました。

今年はイングリッド・バーグマンの生誕百年を記念してローズアベニューに品種名「イングリッド・バーグマン」が飾られていました。



品種「イングリッド・バーグマン」

このショウを訪れて、バラとガーデニングを楽しむ人たちが首都圏にたくさんいることを肌で感じました。バラをモチーフとした多様なコンテストを行い、またトークショーやフラワーレッスンには深野俊幸氏をはじめ著名な方々が登場するなど、より深く学び楽しめる構成になっていると思いました。本県のバラは切り花が中心ですが、ガーデニングを楽しむ環境が整うことでさらに花の需要が期待できると思われました。



<sup>ふかのとしゆき</sup>  
深野 俊幸 氏のフラワーレッスン完成品



バラ切り花販売の様子

あいちの花で県庁舎や名古屋駅前を装飾します！

はじめに

昨年は、「花きの振興に関する法律」(平成26年12月1日施行)が成立するという花き業界において大きな節目の年となりました。この法律は、花き生産者の経営の安定、花きの加工及び流通の高度化、花きの輸出の促進、公共施設及びまちづくりにおける花きの活用等の措置を講じ、もって花き産業の健全な発展と心豊かな国民生活の実現に寄与することを目的としています。特に、第16条では「国及び地方公共団体は、公共施設及びまちづくりにおける花きの活用に努めるもの」と規定されています。

ご存知の方も多いと思いますが、愛知県は昭和37年以来、52年連続で花の生産が日本一である花の王国であり、あいちの花を暮らしに取り入れる「花いっぱい県民運動」を関係団体等と実施しているところです。しかしながら、全国の県庁所在地別の切り花支出金額では、名古屋市は中位に位置するなど、さらなる需要の拡大が課題となっています。

そこで、本県では県庁舎周辺及び本県の玄関口である名古屋駅前を本県産花きで装飾し、「花の王国あいち」をPRするとともに、あいちの花を身近に感じてもらうことで需要拡大につなげていくことにしています。

カキツバタの展示

4月23日(木)から5月19日(火)まで県公館で、5月11日(月)から5月19日(火)まで県庁西庁舎でカキツバタを展示しました。展示されたカキツバタは、愛知県豊橋市のカキツバタ育種家の故・古橋<sup>ひさお</sup>壽雄氏(豊橋市)が育成し、平成23年に愛知豊明花き流通協同組合に寄贈されたものです。



県公館における展示



カキツバタは県の花に指定されており、<sup>ありわらのなりひら あそん</sup>在原業平朝臣が現在の知立市八橋を訪れた際、その辺りの花の美しさに旅情を慰め、カキツバタの5字を詠み込んでうたったと伝えられています。

「から衣 きつつなれにし つましあれば はるばる来ぬる たびをしぞ思ふ」

今後の取り組み

県庁舎“花空間”の創出

県庁舎や議会議事堂正面玄関をあいちの花で装飾します。大きな寄せ植え鉢などを設置し、常時、花のある県庁舎をPRします。

名古屋駅前“花空間”の創出

あいちの玄関口である名古屋駅前にある「おもてなし花壇」をあいちの花で装飾します。名古屋市や花壇を管理する団体と連携して、おもてなし花壇にあいちの花を植栽して「花の王国あいち」をPRします。



県庁西庁舎の展示



## 愛 知 産 青 果 物 の 動 向

青果物の見通し」及び「花きの見通し」ページにおいて使用する『変動の幅を表す用語』につきましては、下記の基準で記載しております。

わずか : ± 2 % 台以内  
 や や : ± 3 ~ 5 % 台  
 かなり : ± 6 ~ 15 % 台  
 大 幅 : ± 1 6 % 以上

### 名古屋市中央卸売市場（品目：おおば）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	うち愛知産	前年の主な産地 (上位3産地)
26年実績	232	209 (90%)	2,857	2,896	愛知 (90%) 高知 (5%) 大分 (2%)
27年見通し	228	90%	2,900	2,900	
入荷量及び卸売価格の概要と見通し			卸売市場から産地への要望・提言等		
空梅雨で比較的穏やかだった昨年に比べ今年の気象背景は年明けから荒れ放題といった印象を受けている。高温多湿に弱い品目だけに、梅雨入りが早まったり、天候不順が続くようであれば、入荷も品質も心配である。 数量は前年をわずかに下回り、価格は前年をわずかに上回る見込み。			年明け、1月から2月まで、各地で品質問題が多々あり販売が苦戦した。 消費者には品質の良いおおばを届けたい。そのため、梅雨時期の圃場管理の徹底（おおばは少しの雨でも敏感になるため）並びに、出荷時に検査強化を希望している。		

### 東京都中央卸売市場（品目：ハウスみかん）

	入 荷 量 (t)	うち愛知産	卸 売 価 格 (円/kg)	うち愛知産	前年の主な産地 (上位3産地)
26年実績	520	61 (12%)	1,070	1,241	佐 賀 (70%) 愛 知 (12%) 大 分 (8%)
27年見通し	500	-	1,200	-	
概 要 と 見 通 し			卸売市場から産地への要望・提言等		
佐賀を中心に愛知、大分が9割の入荷を占める。4月の天候不良による着色遅れにより5月は入荷が少なかったため、6月以降に入荷が集中し、上位等級が多く入荷されることが見込まれる。 佐賀は生育が遅れていたが天候回復により順調な入荷が期待され、入荷量は前年並みとなる見込み。大分は生産面積が前年比90%と減少しており、入荷は7~8月盆前がピークとなる。 本県は6月中旬から8月に向けてピークとなるが、6月はMS中心。 数量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。			ハウスみかんは5月から7月にかけてのギフト商材としての引き合いが強い。 中でも愛知産は、他産地よりも良食味で、品質も安定しており、果物専門店や量販店などからの信頼が高い。反面評価も厳しいので、出荷にあたってはこれまで以上に浮皮や着色などに注意して選果して欲しい。		

名古屋・東京市場における青果物の6月の見通し

名古屋市中央卸売市場

5月14日現在

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	33,692	225	243	223	206	愛知 25%
	23年	32,261	228	229	222	223	長野 17%
	24年	32,796	209	213	196	205	茨城 8%
	25年	30,328	208	198	219	203	長崎 5%
	26年	31,518	220	217	213	223	
	5カ年平均	32,119	218	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	29,900	235	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知が中心となる。 3月、4月の天候不順や日照不足により生育が遅れがちだったが、6月は天候回復により出荷量は見込める。しかし、一部産地によっては減少傾向にある。 入荷量は前年をやや下回り、単価は前年をかなり上回る見込み。							
だいこん	22年	1,956	83	103	82	68	青森 61%
	23年	1,830	86	77	81	107	愛知 25%
	24年	1,744	88	89	83	94	北海道 9%
	25年	1,614	82	77	77	99	岐阜 2%
	26年	1,666	83	82	83	91	
	5カ年平均	1,762	84	86	81	91	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,700	80	80	80	80	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は青森が中心。他、北海道。また、愛知の残量が入る。青森、北海道からは5月末から6月にかけて出荷され、6月上旬にピークを迎える。日本海側は太平洋側に比べると出荷量は少ない。しかし、全体的には例年よりは多いもよう。 入荷量は前年をわずかに上回り、単価は前年をやや下回る見込み。							
にんじん	22年	1,516	157	146	159	174	岐阜 54%
	23年	1,614	136	125	141	150	徳島 14%
	24年	1,200	165	150	163	191	和歌山 7%
	25年	1,150	141	131	143	155	愛知 6%
	26年	1,275	128	117	133	145	
	5カ年平均	1,351	145	134	148	163	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,200	130	120	130	140	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は岐阜、徳島が中心。 天候の回復とともに、岐阜、愛知、和歌山の作況は良く、順調に入荷が見込まれる。 入荷量は前年をやや下回り、単価は前年並となる見込み。							

東京都中央卸売市場

入荷量は前年並で、価格は高値基調品目が多いことから前年

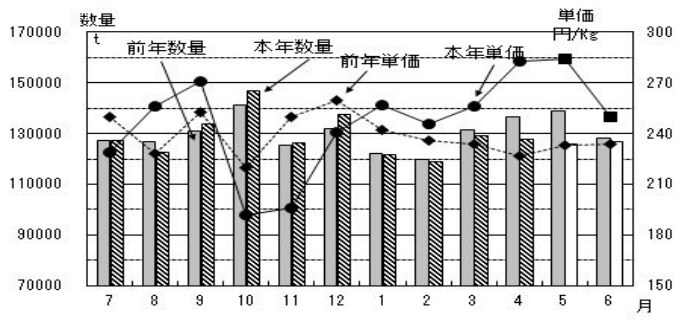
5月25日現在

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
野菜計	22年	130,336	232	256	225	214	千葉 17%
	23年	126,782	233	232	229	237	茨城 14%
	24年	132,882	215	206	210	227	長野 10%
	25年	127,634	220	208	220	232	群馬 6%
	26年	128,251	234	221	237	246	(愛知産比率 3%)
	5ヵ年平均	129,177	227	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	127,000	250	-	-	-		

**産地状況と  
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

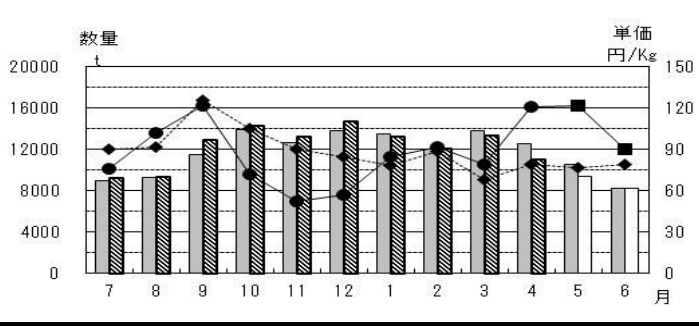
千葉、茨城など関東産地を中心に、長野からの入荷が増加する。葉菜類は関東と長野、果菜類と土物類は西南暖地が中心。4月中旬までの天候不順とその後の干ばつで大型野菜や果菜類などで出荷減の様様。  
入荷量は前年並で、価格は高値基調品目が多いことから前年をかなり上回る見込み。



だいこ	22年	8,676	78	97	75	63	青森 54%
	23年	8,455	84	75	78	100	千葉 24%
	24年	8,306	82	82	74	89	北海道 12%
	25年	7,634	84	79	77	99	栃木 4%
	26年	8,241	79	73	77	87	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,262	81	81	76	87	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	8,200	90	95	90	85		

**産地状況と  
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

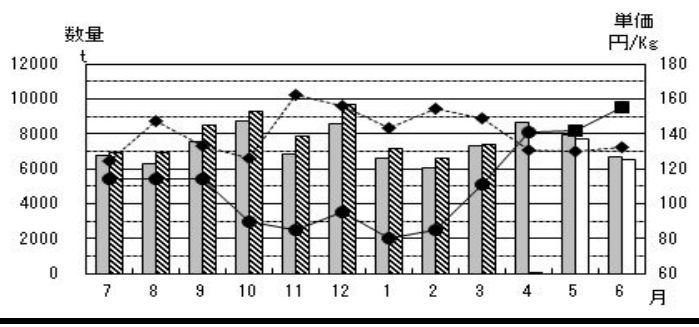
青森、千葉、北海道からの入荷が中心となる。千葉は終盤を迎え、青森、北海道からの入荷が増えてくる。青森と北海道は雪解けが早く好天に恵まれ生育良好。千葉は少雨で一部生育遅れてるが回復を見込む。  
入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。



にんじん	22年	6,312	153	165	145	149	千葉 81%
	23年	7,044	117	130	114	108	埼玉 8%
	24年	6,381	148	147	147	150	茨城 5%
	25年	6,453	138	137	143	136	徳島 2%
	26年	6,678	132	143	133	122	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	6,574	137	144	136	132	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	6,500	155	170	150	145		

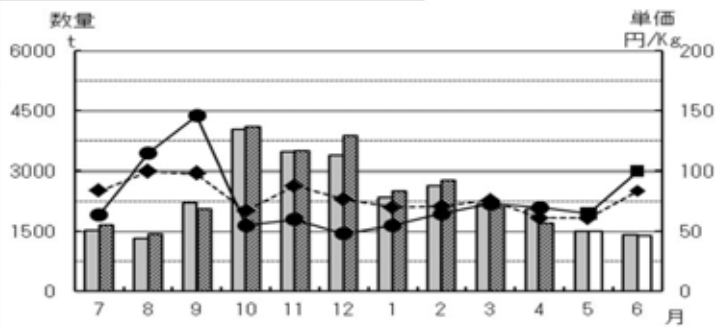
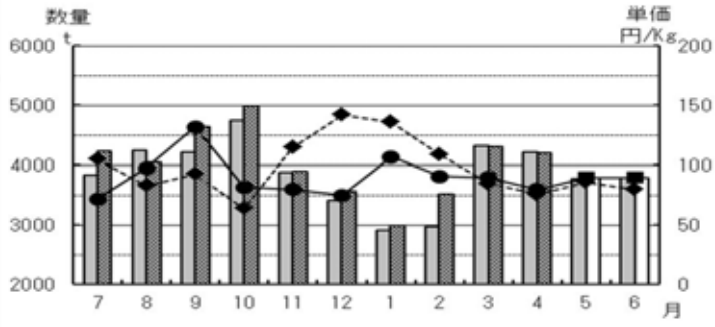
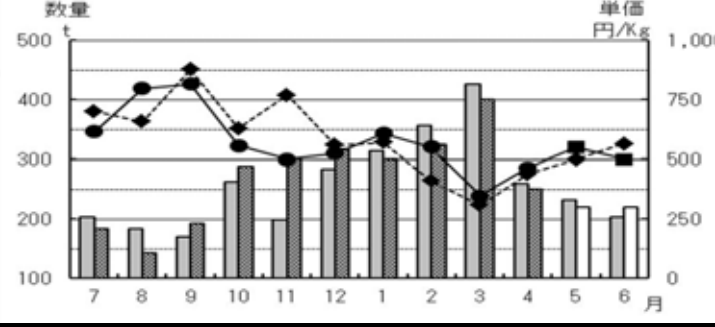
**産地状況と  
入荷量及び卸売価格の概況見通し**

千葉、埼玉、茨城からの入荷が中心となる。徳島は終盤を迎える。千葉は降雨で肥大がやや遅れているが、今後回復を見込む。埼玉はGW前後の干ばつの影響で肥大が鈍くなる見込み。  
入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。



名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうきさい	22年	2,159	74	88	79	57	長野 80% 茨城 13% 群馬 5%
	23年	1,679	71	81	68	70	
	24年	1,712	58	64	47	73	
	25年	1,597	62	55	77	60	
	26年	1,417	84	74	82	102	
	5ヵ年平均	1,713	70	73	71	71	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	1,400	100	120	100	80		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は長野中心。他、茨城。群馬からも若干入り、愛知も残量から。 長野は準高冷地が中心。作付けに大きな影響はない。また、6月の上旬から8月にかけて出荷がある。 入荷量は前年並で、単価は前年を大幅に上回る見込み。</p>					 <p>ほうきさいの数量（トン）と単価（円/kg）の推移。数量は7月～12月にかけて増加傾向にあり、単価は7月～9月にかけて急上昇し、その後徐々に安定している。</p>
キャベツ	22年	3,789	87	116	87	65	茨城 42% 愛知 38% 長野 9%
	23年	3,917	62	47	60	83	
	24年	4,235	68	70	58	62	
	25年	3,384	95	73	114	102	
	26年	3,800	80	69	74	96	
	5ヵ年平均	3,825	78	75	77	81	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	3,800	90	80	90	100		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知、茨城、長野が中心。 生育は良好。 また、5月中旬からSEが出てくるため加工の仕上がりが変わってくる。そのため5月と6月で値段が変わると予想される。 入荷量は前年並で、単価は前年をかなり上回る見込み。</p>					 <p>キャベツの数量（トン）と単価（円/kg）の推移。数量は7月～12月にかけて増加傾向にあり、単価は7月～9月にかけて急上昇し、その後徐々に安定している。</p>
ほうれんそう	22年	277	513	560	486	497	岐阜 73% 長野 9% 茨城 7% 愛知 4%
	23年	235	573	530	610	580	
	24年	287	499	473	466	544	
	25年	221	555	463	577	677	
	26年	203	565	484	543	690	
	5ヵ年平均	245	537	504	531	589	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	220	500	450	500	550		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は岐阜が中心。他、茨城、長野から若干入ってくる。 4月に雨の影響で播種が遅れたが、5月に天候が回復し、6月にピークを迎えるもよう。 入荷量は前年をかなり上回り、単価は前年をかなり下回る見込み。</p>					 <p>ほうれんそうの数量（トン）と単価（円/kg）の推移。数量は7月～12月にかけて増加傾向にあり、単価は7月～9月にかけて急上昇し、その後徐々に安定している。</p>

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ほうい	22年	5,368	56	65	59	45	長野 62% 茨城 22% 群馬 13% (愛知産比率 0%)
	23年	5,856	55	47	57	60	
	24年	5,583	50	47	42	60	
	25年	5,197	57	38	73	59	
	26年	5,397	79	59	76	99	
	5ヵ年平均	5,480	59	51	61	65	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	5,250	90	100	80	90	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、茨城、群馬からの入荷が中心となる。長野、群馬は降雨が少なく干ばつが続いたことから一部では場が乾燥し生育遅れがみられる。茨城は前進出荷のため早めに切り上がる模様。</p> <p>入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>ほうい 数量・単価の推移グラフ (7月～6月)。左軸は数量(t)、右軸は単価(円/kg)。数量は7月～10月増加傾向、11月～12月減少、1月～3月増加、4月～6月減少傾向。単価は7月～9月増加傾向、10月～12月減少、1月～3月増加、4月～6月減少傾向。</p>					
キヤベツ	22年	15,975	75	103	69	55	千葉 43% 茨城 25% 群馬 9% 神奈川 9% (愛知産比率 4%)
	23年	14,641	52	38	44	81	
	24年	16,975	55	57	50	58	
	25年	13,580	81	69	88	87	
	26年	14,420	71	61	63	92	
	5ヵ年平均	15,118	66	66	62	74	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	14,400	80	100	80	60	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>千葉、茨城など関東産地からの入荷が中心となる。千葉は少雨の影響で生育遅れがみられるが今後回復の見込み。茨城、群馬は中旬ころから出荷が始まる模様。神奈川は終盤を迎える。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
		<p>キヤベツ 数量・単価の推移グラフ (7月～6月)。左軸は数量(t)、右軸は単価(円/kg)。数量は7月～10月増加傾向、11月～12月減少、1月～3月増加、4月～6月減少傾向。単価は7月～9月増加傾向、10月～12月減少、1月～3月増加、4月～6月減少傾向。</p>					
ほうれんそう	22年	1,673	405	441	380	394	群馬 31% 茨城 20% 岩手 16% 栃木 15% (愛知産比率 0%)
	23年	1,365	431	430	435	429	
	24年	1,453	391	366	362	447	
	25年	1,286	443	400	408	561	
	26年	1,370	446	350	454	565	
	5ヵ年平均	1,429	422	399	406	474	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,420	437	460	450	400	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>群馬、茨城、岩手、栃木からの入荷が中心となる。群馬は施設、露地とも生育良好で順調な入荷が期待できる。岩手は4月からの干ばつで生育遅れがみられるが、作付面積増。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をわずかに下回る見込み。</p>					
		<p>ほうれんそう 数量・単価の推移グラフ (7月～6月)。左軸は数量(t)、右軸は単価(円/kg)。数量は7月～10月増加傾向、11月～12月減少、1月～3月増加、4月～6月減少傾向。単価は7月～9月増加傾向、10月～12月減少、1月～3月増加、4月～6月減少傾向。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ね	22年	829	426	479	426	377	愛知 28%
	23年	726	373	429	365	354	大分 20%
	24年	652	363	389	389	424	静岡 10%
	25年	704	424	408	421	464	鳥取 9%
	26年	676	401	401	398	410	
ぎ	5カ年平均	717	399	424	401	404	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	700	400	400	400	400	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>長ねぎは愛知、白ねぎは鳥取が中心。愛知の長ねぎも、鳥取の白ねぎも数量が少なめとなっているが、今後、静岡の夏ねぎが入ってくるので、全体的には量は落ち着くもよう。 入荷量は前年をやや上回り、単価は前年並となる見込み。</p>					
レ	22年	1,729	128	225	116	81	長野 99%
	23年	1,708	141	128	134	192	愛知 1%
	24年	1,631	124	134	133	151	
	25年	2,070	108	139	105	106	
	26年	2,155	144	140	150	154	
タ	5カ年平均	1,858	129	152	128	136	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,000	135	125	135	150	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>産地は茨城、兵庫が5月に終わり、長野が6月に伸びてくる。生育は順調で、作付けはまずまず。6月末にピークを迎えるもよう。 入荷量、単価ともに前年をかなり下回る見込み。</p>					
き	22年	1,835	229	258	181	242	愛知 39%
	23年	1,647	307	355	255	327	長野 22%
	24年	1,656	204	168	186	275	群馬 13%
	25年	1,461	268	274	253	291	高知 10%
	26年	1,574	251	217	275	280	
り	5カ年平均	1,635	251	254	228	282	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,600	280	280	280	280	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>4月の天候不順のために出てこなかったものが6月に出てくる。愛知、鹿児島は切り上げが早いもよう。群馬は根張りが悪く、大きな出荷が見込めない。 入荷量は前年並で、単価は前年をかなり上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

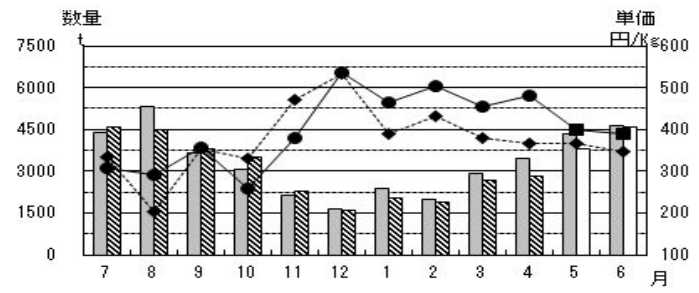
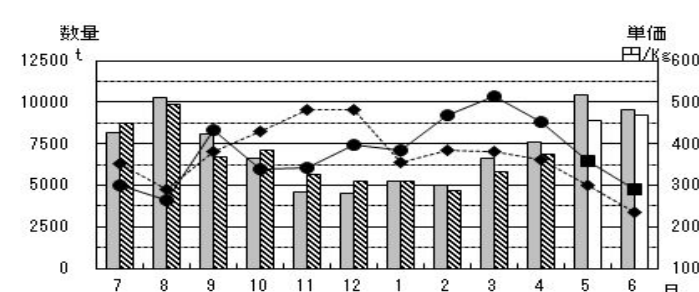
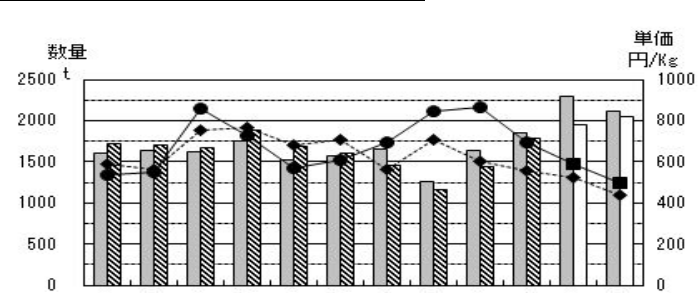
品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ねぎ	22年	4,210	333	383	317	297	茨城 63%
	23年	4,625	270	320	247	241	千葉 21%
	24年	4,314	287	286	283	290	中国 6%
	25年	3,885	378	325	370	406	埼玉 4%
	26年	3,914	347	358	375	304	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,190	321	334	315	305	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	4,000	380	420	380	340		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>茨城、千葉など関東産地からの入荷が中心となる。茨城は生育良好で肥大はやや太めが多い。千葉は降雨で一部生育遅れがみられるが前年並出荷を見込む。埼玉は春ねぎから夏ねぎに産地移行の時期。</p> <p>入荷量は前年をわずかに上回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					
レタ	22年	8,096	121	199	108	78	長野 74%
	23年	7,671	133	162	126	116	群馬 19%
	24年	7,959	134	124	124	151	岩手 4%
	25年	8,673	112	127	105	106	茨城 2%
	26年	7,991	148	133	151	159	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	8,078	129	149	122	122	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	8,300	133	145	130	125		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>長野、群馬からの入荷が中心となる。長野は干ばつが続いているが生育良好で作付面積増から順調出荷が期待できる。群馬は少雨のため一部で定植遅れがみられるが生育は概ね良好で前年並の出荷を見込む。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					
きゅう	22年	7,774	222	272	168	221	埼玉 21%
	23年	6,967	292	352	234	302	群馬 15%
	24年	7,465	192	153	172	256	福島 14%
	25年	6,853	270	278	246	296	千葉 10%
	26年	7,069	268	220	320	271	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	7,226	247	254	226	268	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
27年見通し	7,300	250	260	230	260		
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>埼玉、群馬など関東産地からの入荷が中心となる。埼玉は施設再建が進み出荷増の見込み。群馬は成り疲れの影響で樹勢低下が散見され、福島は露地が中旬ころから出回る模様。</p> <p>入荷量は前年をやや上回り、価格は前年をかなり下回る見込み。</p>					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
なたま	22年	1,233	302	277	309	325	愛知 42%
	23年	1,013	388	376	390	413	熊本 28%
	24年	1,100	318	298	334	329	宮崎 21%
	25年	1,067	254	251	263	257	高知 5%
	26年	1,270	282	284	278	286	
	5ヵ年平均	1,137	307	295	313	320	
	27年見通し	1,100	300	310	300	280	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、熊本が中心。 4月の曇天で作況が良くなく、出荷量も少なめだが、6月は天候回復と気温上昇次第では、出荷量が回復する可能性もある。 入荷量は前年をかなり下回り、単価は前年をかなり上回る見込み。							
トマト	22年	1,650	249	303	232	219	愛知 33%
	23年	1,472	276	277	265	312	熊本 32%
	24年	1,784	289	302	279	297	三重 15%
	25年	1,660	240	214	271	255	岐阜 12%
	26年	1,923	208	204	188	251	
	5ヵ年平均	1,698	251	258	245	266	
	27年見通し	1,700	250	270	250	250	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、熊本が中心。他、三重。熊本は天候不順のため根張りが悪く、少ない。北海道などは生育順調のため出てくるもよう。春系が昨年より少ないが、過去5年の平均並みとなる。 入荷量は前年をかなり下回り、単価は前年を大幅に上回る見込み。							
ミニトマト	22年	383	510	541	496	493	熊本 41%
	23年	375	559	525	558	619	愛知 37%
	24年	467	545	560	479	570	北海郷 10%
	25年	479	526	445	553	599	
	26年	506	514	505	467	548	
	5ヵ年平均	442	530	513	509	566	
	27年見通し	500	500	500	500	500	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
産地は愛知、熊本が中心。小玉傾向にあるが、6月には回復し、出荷量も見込める。 北海道は6月上旬から出荷量が下がってくる。 入荷量は前年並であり、単価は前年をわずかに下回る見込み。							



品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
な す	22年	4,273	348	365	342	338	高知 32%
	23年	3,672	436	424	419	465	福岡 20%
	24年	4,217	348	341	350	352	群馬 11%
	25年	4,157	308	296	301	333	茨城 9%
	26年	4,643	346	326	381	375	(愛知産比率 0%)
	5ヵ年平均	4,192	355	348	358	370	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	4,600	390	410	390	370	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		高知、福岡、群馬、茨城からの入荷が中心となる。高知と福岡は4月の天候不順から着果量が少なく気温上昇による樹勢回復に期待。群馬は気温上昇で樹勢が回復傾向にあり、着果量も良好。 入荷量は前年並で、価格は前年をかなり上回る見込み。					
ト マ ト	22年	9,081	266	349	253	218	栃木 22%
	23年	8,214	290	296	268	310	茨城 14%
	24年	9,401	308	320	292	309	千葉 13%
	25年	9,286	249	226	263	262	愛知 12%
	26年	9,536	234	215	228	266	(愛知産比率 12%)
	5ヵ年平均	9,104	269	280	261	272	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	9,200	290	350	250	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		栃木、茨城、千葉、愛知からの入荷が中心となる。栃木は小玉傾向から回復し増量の見込み。茨城は作付面積減と一部前進出荷のため入荷減の見込み。千葉は天候不順の影響で生育遅れがみられる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は安かった前年を大幅に上回る見込み。					
ミ ニ ト マ ト	22年	1,402	471	538	446	433	愛知 25%
	23年	1,328	520	473	510	597	熊本 23%
	24年	1,741	511	523	468	538	千葉 13%
	25年	1,966	447	396	476	476	茨城 11%
	26年	2,106	439	439	427	452	(愛知産比率 23%)
	5ヵ年平均	1,709	473	468	463	494	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,050	500	550	450	500	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		愛知、熊本、千葉、茨城からの入荷が中心となる。本県と熊本は終盤に近づき、4月の天候不順の影響で出荷量は前年を下回る見込み。千葉はピークを迎え、茨城は出荷量がまとまってくる。 入荷量は前年をわずかに下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。					

名古屋市中央卸売市場

単位：入荷量 = トン、卸売価格 = 円 / kg

品目名	区分 実績 と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地 (%)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	575	318	336	364	262	茨城 46%
	23年	553	385	468	393	374	宮崎 27%
	24年	618	230	264	232	272	高知 25%
	25年	571	259	211	305	377	
	26年	610	239	217	267	309	
マン	5カ年平均	585	284	297	310	317	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	600	280	300	280	260	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は茨城が中心。他、宮崎、高知。全体的に少なめであり、切り上げも早い。価格は高め。入荷量は前年並で、単価は前年を大幅に上回る見込み。					
ばれいしょ	22年	3,294	184	174	197	186	長崎 64%
	23年	2,959	183	213	173	145	静岡 20%
	24年	3,035	75	82	76	70	熊本 9%
	25年	2,823	95	94	98	95	
	26年	2,475	122	127	124	119	
いしょ	5カ年平均	2,917	133	139	135	125	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,400	130	130	130	130	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は長崎、静岡が中心。長崎は6月いっぱいの販売となる。3月の低温、霜の害により出荷は少ない。静岡は6月がピーク。3月の天候不順で生育が遅れており、Lサイズ中心となる。入荷量は前年をやや下回り、単価は前年をかなり上回る見込み。					
たまねぎ	22年	3,973	86	95	81	81	愛知 63%
	23年	3,886	63	63	64	64	兵庫 26%
	24年	3,107	110	104	106	126	北海道 8%
	25年	3,259	74	73	84	67	中国 2%
	26年	3,879	96	101	95	94	
ねぎ	5カ年平均	3,621	85	87	85	85	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	3,300	100	100	100	100	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		産地は愛知、兵庫が中心。4月の日照不足や天候不順で小玉傾向。病気の心配もあり、数は例年より少なくなる。兵庫の淡路産の品質が悪いと出荷できず、価格も高めとなる。入荷量は前年をかなり下回り、単価は前年をやや上回る見込み。					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
ピーマン	22年	2,368	384	519	346	317	茨城 84%
	23年	2,492	219	227	200	238	高知 6%
	24年	2,621	330	393	304	295	宮崎 4%
	25年	2,701	272	362	259	202	岩手 4%
	26年	2,440	250	214	256	287	(愛知産比率 0%)
マ	5カ年平均	2,524	290	343	272	266	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,400	280	290	280	270	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>茨城を主力に高知、宮崎、岩手からの入荷が中心となる。茨城は4月中旬から着果したものが収穫を迎え、肥大良好。安定した出荷を見込む。岩手は作付面積増で、生育は気温上昇で10日ほど前進傾向。</p> <p>入荷量は前年並で、価格は安かった前年をかなり上回る見込み。</p>					
ばいしょ	22年	9,484	175	174	158	197	長崎 56%
	23年	9,534	207	191	222	208	静岡 15%
	24年	12,363	112	147	106	94	熊本 10%
	25年	10,682	101	96	104	105	千葉 8%
	26年	8,784	128	132	127	124	(愛知産比率 0%)
い	5カ年平均	10,169	142	147	141	142	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,800	180	200	170	170	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>長崎、静岡、熊本、千葉からの入荷が中心となる。長崎は5月に出荷ピークを迎え6月中旬まで続き、生育は概ね良好。静岡は天候不順から小玉傾向だが今後肥大が進むことを見込む。</p> <p>全体の入荷量は前年並で、価格は前年を大幅に上回る見込み。</p>					
たまねぎ	22年	12,218	109	126	104	99	佐賀 46%
	23年	14,244	78	95	86	59	兵庫 17%
	24年	14,161	100	102	97	100	香川 10%
	25年	15,134	65	64	67	66	中国 5%
	26年	10,705	110	107	104	118	(愛知産比率 4%)
ね	5カ年平均	13,292	91	97	90	86	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	10,200	125	130	130	115	
		産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し					
		<p>佐賀、兵庫、香川からの入荷が中心となる。佐賀は定植時の曇雨天の影響で中晩生の定植が遅れたため、入荷減の見込み。兵庫、香川も定植が遅れたことから出荷減の見込み。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をかなり上回る見込み。</p>					

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%)	
			上旬	中旬	下旬		
果実計	22年	9,487	344	327	360	347	愛知 20%
	23年	9,486	334	323	339	361	フィリピン 19%
	24年	9,381	337	347	353	349	熊本 16%
	25年	8,640	354	355	358	350	青森 8%
	26年	8,677	381	377	371	394	
	5カ年平均	9,134	349	-	-	-	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	8,000	380	-	-	-	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>国内の産地は愛知、熊本。4月の天候不順の影響により、全体的に生育は良くなく、特にメロン、すいか等の瓜類の出荷が少なく、価格も上がらない。一方、ぶどうは天候の影響をさほど受けておらず、順調な出荷となる。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年並の見込み。</p>					
その他メロン	22年	1,170	315	380	345	269	熊本 30%
	23年	1,059	281	291	280	299	茨城 24%
	24年	1,165	287	307	286	282	愛知 24%
	25年	1,074	288	302	299	320	メキシコ 15%
	26年	1,190	301	288	292	323	
	5カ年平均	1,132	295	314	301	298	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	1,000	310	340	320	300	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は熊本、愛知が中心だが、今後、東北産地が増えてくる。熊本は作付け面積減少により、量は減少傾向にある。</p> <p>日照不足により、玉は小さめであるが、量が少ないことから価格は高め。</p> <p>入荷量は前年をかなり下回り、単価は前年をわずかに上回る見込み。</p>					
すいか	22年	1,705	195	216	215	191	愛知 56%
	23年	1,947	172	193	182	176	熊本 30%
	24年	2,121	180	206	198	172	鳥取 9%
	25年	1,823	190	207	210	195	石川 3%
	26年	2,124	184	227	208	168	
	5カ年平均	1,944	184	210	202	180	前年及び本年の 入荷量・価格の動き
	27年見通し	2,000	190	200	190	180	
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し		<p>産地は愛知が中心となる。他、熊本、鳥取からも入る。</p> <p>数量は少なめではあるが、花付きが悪いわけではない。ただし、日照不足の影響は少なからずあり、玉は小さい。</p> <p>入荷量は前年をやや下回り、単価は前年をやや上回る見込み。</p>					

東京都中央卸売市場

単位：入荷量＝トン、卸売価格＝円/kg

品目名	区分 実績と見通し	入荷量	卸売価格			前年主要産地(%) (愛知産比率)	
			上旬	中旬	下旬		
果 実 計	22年	31,851	373	362	383	375	茨城 20%
	23年	31,506	354	320	358	380	千葉 15%
	24年	30,172	376	354	379	389	青森 10%
	25年	29,672	378	357	379	399	フィリピン 10%
	26年	29,458	416	385	420	440	(愛知産比率 1%)
	5カ年平均	30,532	379	-	-	-	前年及び本年の
	27年見通し	28,000	430	-	-	-	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
すいか類、メロン類中心におうとう、もも、ぶどう、ハウスみかん等が入荷する。おうとう、ももなどは作柄がよく生育も前進傾向。すいか・メロン類は4月の天候不順により5月は入荷量が少なかったが、6月中旬以降は回復してくる見込み。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
そ の 他	22年	4,768	371	442	389	311	茨城 77%
	23年	4,862	336	350	329	326	千葉 12%
	24年	5,038	327	338	344	306	熊本 6%
	25年	4,132	365	406	364	334	山形 3%
	26年	5,325	343	340	346	321	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	4,825	348	375	354	320	前年及び本年の
	27年見通し	4,800	360	400	350	320	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
茨城、千葉を中心に入荷する。各産地とも4月上旬の低温・日照不足による交配不良等で5月の入荷量は少なかった。6月中旬以降から例年並みの入荷となる見込み。小玉傾向も回復に向かう。 入荷量は前年をかなり下回り、価格は前年をやや上回る見込み。							
す い か	22年	8,926	221	237	228	207	千葉 40%
	23年	8,778	183	184	184	182	熊本 26%
	24年	9,042	187	212	193	168	茨城 19%
	25年	8,661	207	215	212	196	鳥取 8%
	26年	9,471	212	233	216	189	(愛知産比率 0%)
	5カ年平均	8,976	202	216	207	188	前年及び本年の
	27年見通し	9,000	210	240	215	190	入荷量・価格の動き
産地状況と 入荷量及び卸売価格の概況見通し							
千葉、熊本、鳥取を中心に入荷する。各産地とも4月上旬の低温・日照不足による着果・肥大不良等で5月の入荷量は少なかったが、6月は入荷量が回復する見込み。千葉では6月中旬から露地物の出荷が始まり下旬にかけてピークを迎える。熊本は6月上旬は入荷量が少なく、中旬以降は前年並みの出荷となる。 入荷量は前年をやや下回り、価格は前年並みとなる見込み。							

# 切花・鉢花の6月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 5月24日現在）

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	22年	1,896	59	
		23年	1,956	45	
		24年	2,269	31	
		25年	1,575	48	
		26年	1,673	42	
	5ヶ年平均		1,874	44	
	27年見通し		1,700	45	
概要	愛知、三重中心に入荷。夏秋系品種が増え、下旬には白菊の主体は精の一世となる。長野産も短幹傾向や遅れもあるが、下旬には入荷してくると思われる。動きは業務用主体で、大きな山もなく、落ち着いた展開となろう。				
小 ぎ	実績	22年	912	36	
		23年	1,152	32	
		24年	1,387	22	
		25年	1,172	33	
		26年	1,327	31	
	5ヶ年平均		1,190	30	
	27年見通し		1,300	30	
概要	愛知、奈良、埼玉などから入荷。地場産の生育は順調、高冷地産は春先の曇天、低温により例年よりやや遅れがでているが中旬には出荷も始まる。今後の天候にもよるが、大きな山谷もなく、平年並みの動きとなろう。				
カー ネー ション	実績	22年	1,047	38	
		23年	1,198	37	
		24年	1,109	32	
		25年	789	53	
		26年	1,037	41	
	5ヶ年平均		1,036	40	
	27年見通し		1,100	45	
概要	愛知を中心に和歌山、長野等から入荷。今年は雪害等の影響もなく、上旬から徐々にスタンダードから出てくるので、スタンダードは安定供給され、単価もそこそこ安定するが、スプレーは少し切れ間ができる。				
か す み	実績	22年	134	67	
		23年	126	75	
		24年	136	63	
		25年	133	79	
		26年	147	73	
	5ヶ年平均		135	71	
	27年見通し		140	75	
概要	高知、和歌山も終了し、長野、福島、北海道に切り替わる。前半の数量が少なそうだが、中旬以降は急激に増加の可能性もある。業務中心の販売で上位等級の相場は安定、中等級以下は厳しい販売になりそう。				

単位：千本、円/本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	22年	337	154	
		23年	410	140	
		24年	410	127	
		25年	397	119	
		26年	401	117	
	5ヶ年平均	391	131		
27年見通し	400	120			
概要	新潟、高知、埼玉などから入荷。OHは高知の出荷も終了してくる。新潟は前半少ないが、中旬以降増えてくる。埼玉は6月下旬ごろ増加する予定。総体的に産地の入れ替えはあるが、入荷数は安定。鉄砲は高知、岐阜から入荷は多くないが、業務がもっとも暇な月であり、相場も不安定。LAはやや少なめ、黄色中心の販売で安定相場。				
洋らん	実績	22年	321	81	
		23年	374	81	
		24年	364	79	
		25年	357	86	
		26年	367	90	
	5ヶ年平均	357	84		
27年見通し	360	85			
概要	鹿児島、愛知、静岡、輸入物が入荷。気温が高くなり、消費が鈍くなる時期となるため、全体的には厳しい展開になるだろう。				
ばら	実績	22年	1,045	48	
		23年	954	53	
		24年	923	54	
		25年	945	50	
		26年	977	38	
	5ヶ年平均	969	49		
27年見通し	980	45			
概要	愛知、岐阜、三重、和歌山等から入荷。高冷地も随時入荷する。入荷量は前年並みの見込み。昨年は増税の影響もあり、ブライダル、店売りと低調であったが、今年はジュンブライダル、父の日とイベントが見込めるとされる。				
枝も	実績	22年	1,458	36	
		23年	1,479	40	
		24年	1,534	39	
		25年	1,337	44	
		26年	1,472	42	
	5ヶ年平均	1,456	40		
27年見通し	1,450	45			
概要	長野県を中心に色々な産地から季節物の花物が入荷。山取り花物は人出不足で、入荷量は少なく、安定した価格で推移しそう。				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ア ン ス リ ウ ム	実 績	22年	15,570	967	
		23年	19,878	982	
		24年	22,302	1,034	
		25年	21,385	922	
		26年	25,526	922	
	5ヶ年平均		20,932	964	
	27年見通し		24,000	920	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。6号、7号サイズが主体の入荷で品種はピンクチャンピオン、ダコタが中心になる。あとはMIXでの出荷が多いと思われる。                      昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(98.0%)、2位三重県(1.1%)、3位静岡県(0.5%)となっている。</p>				
フ ア レ ノ ブ シ	実 績	22年	23,846	2,654	
		23年	25,948	2,942	
		24年	21,785	3,070	
		25年	22,204	3,121	
		26年	26,025	3,164	
	5ヶ年平均		23,962	2,989	
	27年見通し		26,000	3,100	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。単価は不安定になる予想だが、今年の流れを見ている感じだと昨年よりかは良いと思う。時期的に温度が高く、気温も上昇する為、出荷時に注意が必要である。                      昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(46.1%)、2位三重県(41.6%)、3位岐阜県(11.0%)となっている。</p>				
バ ラ 及 び ミ ニ バ ラ	実 績	22年	26,970	184	
		23年	28,771	155	
		24年	22,542	225	
		25年	29,421	210	
		26年	40,149	168	
	5ヶ年平均		29,571	185	
	27年見通し		30,000	180	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。例年に比べると平均並みの見込み。植栽等の需要も一段落し、温度体の上昇と共に販売は厳しそう。                      昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜県(62.3%)、2位愛知県(25.1%)、3位愛媛県(10.2%)となっている。</p>				



単位：鉢、円/鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ジ ニア	実 績	22年	45,729	392	
		23年	34,524	545	
		24年	47,455	405	
		25年	51,218	514	
		26年	66,926	560	
	5ヶ年平均		49,170	487	
	27年見通し		60,000	500	
概要	<p>入荷量は昨年より減少か。春先の天候不順の為、若干入荷減の見込み。          玉アジサイを中心に八重咲き種及び晩性種の比率が増えるであろう。          昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(76.5%)、2位群馬県(10.6%)、3位埼玉県(2.7%)となっている。</p>				
ス パ テ イ フ ィ ラ ム	実 績	22年	23,770	235	
		23年	17,880	299	
		24年	17,869	306	
		25年	20,927	281	
		26年	17,743	324	
	5ヶ年平均		19,638	286	
	27年見通し		18,000	320	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。輪数良く仕立てれば安定する見込み。3号～6号までは需要が見込めるがそれ以上は厳しい。          昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(46.1%)、2位三重県(41.6%)、3位岐阜県(11.0%)となっている。</p>				
ド ラ セ ナ 類	実 績	22年	31,960	648	
		23年	40,127	649	
		24年	42,796	702	
		25年	42,349	735	
		26年	41,480	753	
	5ヶ年平均		39,742	700	
	27年見通し		41,000	750	
概要	<p>入荷量は昨年並みか。愛知県産が中心の入荷を予定している。4～5月出荷商品のずれ込み雰囲気も有り。大鉢は少なめと思われるが、(ユッカ、マッサン、コンシ)の8号、7号を中心に入荷は多いと思われる。          昨年6月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知県(73.3%)、2位沖縄県(13.4%)、3位岐阜県(3.0%)となっている。</p>				

# 主要農林水産物の輸出入実績(2015年)

## 1 輸入実績

品名	3月						3月までの累計					
	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比	数量	前年比	金額	前年比	単価	前年比
	トン	%	千円	%	円/kg	%	トン	%	千円	%	円/kg	%
野菜(生鮮・冷蔵)	83,608	93.5	8,839,113	95.1	106	101.7	208,309	80	24,446,119	89	117	111
トマト	565	111.0	216,814	106.6	384	96.0	1,485	101	569,258	95	383	94
たまねぎ	27,509	83.6	1,407,465	75.5	51	90.2	75,267	77	3,890,125	69	52	90
にんにく	1,689	119.6	357,033	153.5	211	128.3	4,782	112	985,844	142	206	127
ねぎ	4,135	79.0	437,297	78.1	106	98.8	12,796	88	1,462,191	87	114	98
ブロッコリー	1,305	54.4	302,843	71.6	232	131.7	3,595	48	862,919	61	240	128
結球キャベツ	2,351	46.6	105,034	50.8	45	109.1	6,827	38	297,424	38	44	101
にんじん・かぶ	5,693	66.6	307,353	63.2	54	94.8	12,909	65	688,085	57	53	88
ごぼう	2,897	72.7	171,179	45.0	59	61.8	9,098	81	531,600	50	58	61
えんどう	84	86.6	32,137	91.0	383	105.1	268	128	112,123	142	418	111
アスパラガス	1,378	59.3	987,933	92.9	717	156.6	3,710	66	2,788,546	95	752	143
まつたけ	-	-	-	-	-	-	0.1	-	463	-	3,215	-
しいたけ	231	84.0	82,421	79.7	357	94.9	915	83	334,988	81	366	97
かぼちゃ	22,981	152.0	1,775,490	161.4	77	106.2	47,989	102	4,138,694	115	86	112
果実(生鮮・乾燥)	146,808	109.2	25,896,717	128.0	176	117.2	361,072	99	63,642,585	112	176	113
バナナ	75,533	102.5	7,328,601	118.4	97	115.5	208,165	100	19,161,848	113	92	113
パイナップル	14,995	116.5	1,204,717	130.8	80	112.3	35,918	112	2,910,645	131	81	116
レモン	5,020	200.5	1,287,187	267.2	256	133.3	12,448	115	3,259,166	149	262	130
オレンジ	9,633	120.9	1,603,652	125.4	166	103.7	17,893	90	2,982,590	94	167	105
グレープフルーツ	14,726	114.7	2,142,304	130.8	145	114.0	26,858	85	3,978,897	98	148	115
メロン	3,664	94.9	376,739	95.1	103	100.2	7,140	91	862,944	101	121	111
ぶどう	6,239	280.4	1,890,847	382.3	303	136.3	13,080	300	4,126,325	394	315	131
キウイ	115	179.7	44,441	218.4	386	121.5	168	132	63,946	158	381	119
いちご	2	226.0	2,482	472.8	1,098	209.2	7	82	8,489	84	1,256	103
切花(生鮮・乾燥)	5,166	91.4	4,591,873	100.8	889	110.3	10,759	96	9,873,061	104	918	108
鳥獣肉類	144,106	106.5	82,398,009	121.6	572	114.2	420,656	100	234,292,887	114	557	114
牛肉(くず肉含む)	35,228	95.4	27,063,397	133.8	768	140.2	103,812	100	77,432,616	217	746	218
豚肉(くず肉含む)	65,429	105.5	35,869,482	108.8	548	103.1	173,403	89	96,198,658	93	555	105
鶏肉	34,100	123.3	10,597,975	137.7	311	111.7	118,820	121	37,978,651	140	320	116
水産物(生鮮・冷蔵・冷凍)	118,976	106.1	80,746,653	103.4	679	97.4	374,206	104	260,260,536	106	696	102
まぐろ類	18,959	102.6	22,235,336	113.5	1,173	110.6	49,003	94	57,384,797	110	1,171	117
さば・さんま・あじ・いわし	7,135	153.6	1,564,302	148.8	219	96.8	32,390	125	7,152,914	124	221	99

## 2 輸出実績

果実(生鮮・乾燥)	1,879	105.2	849,072	127.5	452	121.1	13,306	172	5,681,937	177	427	103
うんしゅうみかん	43	126.5	20,747	107.2	482	84.7	247	102	130,116	96	527	94
りんご	1,711	100.8	607,453	107.2	355	106.4	12,501	173	4,720,203	174	378	101
なし	-	-	-	-	-	-	60	728	30,966	709	516	98
野菜(生鮮・冷蔵・乾燥)	-	-	285,498	127.7	-	-	-	-	999,725	146	-	-
緑茶	310	143.5	653,016	133.2	2,107	92.8	936	126	2,131,833	126	2,278	100

資料 農林水産省大臣官房統計部「農林水産物輸出入情報」

速報値によるデータのため、累計値に誤差がある場合があります。

# 関 連 指 数

項目 年月		消費者物価指数 (全国 平成22年 = 100)				
		総合	生鮮野菜	生鮮果物	肉類	魚介類
全 国	24年平均	99.7	96.1	103.3	99.0	101.4
	25年平均	100.0	96.4	101.6	99.3	102.4
	26年12月	103.3	95.3	103.8	109.8	117.1
	27年 1月	103.1	107.9	119.6	110.4	117.2
	2月	102.9	102.3	121.2	110.8	116.4
	3月	103.3	102.3	121.4	111.2	115.4
愛 知 県	24年平均	99.5	95.9	102.9	98.6	101.4
	25年平均	100.3	100.3	105.6	99.9	105.6
	26年12月	103.1	100.0	106.0	113.4	116.5
	27年 1月	102.8	111.1	124.1	112.7	116.5
	2月	102.7	104.6	128.0	113.1	116.0
	3月	103.3	105.4	123.5	112.6	115.4

項目 年月		農業物価指数 (平成22年 = 100)				
		農産物総合	米	野菜	果実	畜産物
全 国	24年平均	101.8	111.1	99.0	102.8	100.9
	25年平均	102.8	112.8	98.7	94.7	107.7
	26年12月	103.5	84.2	108.8	94.1	124.9
	27年 1月	108.6	83.6	119.8	119.7	119.9
	2月	109.3	83.5	118.0	121.1	122.7
	3月	110.6	83.5	120.4	114.5	124.4

資料 農林水産省大臣官房統計部「農業物価指数」

資料 全 国・総務省統計局「消費者物価指数月報」  
愛知県・愛知県民生活部「名古屋市消費者物価指数」

名 古 屋 市 小 売 価 格 (円)													
品目 単位 年月	うるち米 (単一品種、「コシカ」以外)	キャベツ	はくさい	ねぎ	レタス	ばれいしょ	だいこん	にんじん	たまねぎ	きゅうり	トマト	生しいたけ	りんご(ふじ)
	5 kg	1 kg										100g	1kg
24年平均	2,112	147	178	629	457	297	160	350	229	558	665	165	564
25年平均	2,084	149	182	649	442	299	163	388	231	569	695	162	567
26年12月	1,857	135	122	602	496	287	136	338	240	549	645	179	451
27年 1月	1,850	192	146	666	750	317	166	360	247	719	639	191	484
2月	1,836	172	141	582	531	333	150	296	245	666	671	194	488
3月	1,847	156	188	588	547	334	155	317	253	614	741	184	482
品目 単位 年月	みかん	グレープフルーツ	オレンジ	いちご	バナナ	キウイフルーツ	緑茶(せん茶)	カーネーション	きく	バラ	豚肉(バラ)	牛肉(ロース)	まぐろ
	1 kg	100g	1 kg	100g	1 kg	100g	1 本	100g	1 本	100g	100g	100g	100g
24年平均	582	283	352	177	211	805	534	153	168	306	225	797	398
25年平均	581	285	355	179	214	792	530	159	171	310	231	794	390
26年12月	504	372	443	209	243	828	537	180	185	374	248	647	361
27年 1月	633	452	462	196	242	870	537	167	176	357	224	925	488
2月	691	479	497	191	253	881	535	170	177	360	226	925	495
3月	682	391	497	174	256	886	537	185	183	358	215	916	449

豚肉は26年12月までロースの価格を示す。

資料 総務省統計局「小売物価統計調査報告」



## いいともあいち運動って知ってる？

県内の消費者と生産者が今まで以上に**いい友**関係になる

Eat more Aichi products (イート モア アイチ プロダクツ)

= もっと愛知県産品を食べよう (利用しよう)

愛知県の農林水産業の振興や農山漁村の活性化を通じて県民全体の暮らしの向上を図るため、県民の方々に「愛知県農林水産業の応援団」になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという「運動」です。

県民の方々に愛知県産農林水産物をもっと利用していただきたいという、「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

あいち農産物生産流通レポート 504  
平成27年6月発行  
農林水産部食育推進課  
〒460-8501  
名古屋市中区三の丸三丁目1番2号  
電話 (052) 954-6421